



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 19 年 1 月 26 日

上場会社名 三井情報開発株式会社

(コード番号：4846 東証第二部)

(URL <http://www.mki.co.jp/investorrelations/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 増田 潤逸

責任者役職・氏名 取締役 近藤 隆通

T E L (03) 5847-6050

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 ・連結 (除外) 1 社

平成 18 年 11 月 1 日、連結子会社である株式会社トパックスを合併致しました。

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	16,719	11.6	431	—	456	—	211	—
18 年 3 月期第 3 四半期	14,976	△0.8	△10	—	△17	—	△76	—
(参考) 18 年 3 月期	24,190		1,274		1,310		891	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	16	67	—	—
18 年 3 月期第 3 四半期	△6	03	—	—
(参考) 18 年 3 月期	68	61	—	—

(注) 売上高等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の日本経済は、個人消費に弱さがみられるものの、企業収益が改善し設備投資の増加が持続するなど、引き続き回復傾向で推移しました。情報サービス産業においては、景気回復による企業のIT投資への意欲の高まりを受け、安定的な需要動向がみられます。しかしながら、お客様のIT投資に対する要求の高さや、要員調達コストの増大等により、厳しい経営環境が続いております。

このような環境にあって当社グループは、大手既存顧客向けのシステム開発業務やシステム保守・運用業務を行う一方、プロジェクトマネジメントに関して、全社的に品質管理の一層の強化を図る取り組みを進めた結果、事業の展開は総じて好調に推移しました。

インターネットデータセンター (IDC) ビジネスも、引き続き順調に拡大いたしました。

他方で、平成17年10月27日に発表した中期経営計画「GMAX計画」の推進に、企業グループを挙げて精力的に取り組み、グループ経営を重視しつつ効率的な業務推進や新たな事業展開を図るなど、事業運営を進めました。

営業体制面では、平成18年11月1日、連結子会社の株式会社トパックスを合併し、トパックスの製造業向けビジネスを当社のコアコンピタンスの一つとし、さらなる強化拡大を推進しました。また、ネットワークインテグレーションを主な業務とするネクストコム株式会社と平成19年4月1日に合併することを、平成18年12月21日の取締役会で決議いたしました。これにより、ネクストコムが持つネットワーク技術力・営業力と、当社が持つシステム構築力と運用・サービス力を組み合わせ、コンサルティングから設計、構築、保守・運用までをシームレスに結びトータルなサービスの提供を目指してまいります。

生産体制面では、各プロジェクトに対する全社的なモニタリング機能の向上を引き続き図り、問題プロジェクトへの迅速な対応を進めました。また、プロジェクト全般におけるコストマネジメントの徹底を進め、プロジェクト収益

性の向上を図る対応を継続的に推進しております。

企業グループの拡大として、パートナー企業を含め優秀な人材の確保が重要な経営課題となっている現状を踏まえ、全国の有望な地域を選定し強固な基盤を築いている企業と業務連携の強化・資本提携を行うべく、積極的な取り組みを行っています。

これらの結果、当第3四半期の連結売上高は IDC 事業の堅調な伸び、大手顧客への売上伸長、トパックス社の売上寄与等により 167 億 19 百万円と、前年同期に比し 17 億 43 百万円、11.6%増加しました。売上総利益は、システム保守・運用ビジネスの拡大・強化のための基盤整備費用や、IT 統制関連ビジネス拡大に向けた教育等の IT 統制に関する先行費用の増加などがあったものの、売上の増加に伴う増益、プロジェクト監理の徹底による収益率の向上などにより 30 億 72 百万円と、前年同期に比し 10 億 52 百万円、52.1%増加しました。営業利益は、子会社増加に伴う販売費及び一般管理費の増加があったものの 4 億 31 百万円と、前年同期に比し 4 億 41 百万円改善しました。経常利益は 4 億 56 百万円と、前年同期に比し 4 億 73 百万円改善しました。特別損益は、平成 19 年 4 月 1 日のネクストコム株式会社との合併に関連する特別損失の一部計上等があったものの、子会社における退職給付関連での特別利益等により 92 百万円と、前年同期に比し 1 億 17 百万円改善しました。税金等調整前四半期純利益は、前年同期に比し 5 億 91 百万円改善し、5 億 48 百万円となりました。四半期純利益は、前年同期に比し 2 億 87 百万円改善し、2 億 11 百万円となりました。

当社グループの四半期業績の特性について

当社グループは、コンサルティング、ソフトウェアパッケージ販売、情報システムの企画・開発から保守・運用業務までの一貫した IT サービスを行っています。

各サービスの中には、毎月一定額の売上を計上する業務もありますが、お客様の検収に基づいて売上計上するシステム開発等の比率が高く、システム開発等の検収は我が国の多くの法人の事業年度末である 3 月末に行われることが多いため、第 4 四半期に売上及び利益計上が集中する傾向があります。これは、従来からある業界的傾向でもあります。

以上のため、当社グループの業績には季節的変動があり、売上及び利益の計上が共に第 4 四半期に集中する傾向があります。季節的な偏りを解消するための取り組みを鋭意進めておりますが、当該四半期の業績をご覧になる場合は、前年同期比較並びに通期見通しと併せてご判断願います。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	13,270	9,570	71.5	750	02
18年3月期第3四半期	14,981	8,513	56.8	672	61
(参考)18年3月期	15,073	9,514	63.1	749	87

(注) 18年3月期第3四半期及び18年3月期の「純資産」欄については、「資本の部」の額を記載しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,559	△178	△506	1,802
18年3月期第3四半期	△359	△1,170	603	1,853
(参考)18年3月期	△686	△980	73	926

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益 5 億 48 百万円に、資金の増加として、売上債権の減少額 32 億 31 百万円等があり、資金の減少としては、たな卸資産の増加額 10 億 22 百万円、仕入債務の減少額 3 億 58 百万円、法人税等の支払 2 億 27 百万円等がありました。この結果、営業活動により得られた資金は 15 億 59 百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得等による支払があり、投資活動の結果使用した資金は 1 億 78 百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少 3 億円ならびに配当金の支払 2 億 6 百万円があり、財務活動の結果使用した資金は 5 億 6 百万円となりました。

これらの結果、当第 3 四半期末の現金及び現金同等物は 18 億 2 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 8 億 76 百万円増加しました。

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

[業績予想に関する定性的情報等]

我国における内部統制関連市場の立ち上がり遅延等により、ネクストコム株式会社との合併に関する一時費用をカバーするには大変厳しい状況であります。当第 3 四半期の業績は期首計画を上回り前年同期比においても増収増益基調で推移しており、平成 18 年 4 月 28 日公表の平成 19 年 3 月期の連結業績予想につきましては、以下の通り変更ございません。

平成 19 年 3 月期の連結業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	28,500	2,400	1,300

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 102 円 70 銭

(注 1) 本資料における業績の見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報による判断、及び仮定に基づいて算定しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や、今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

(注 2) 剰余金の配当に関し、本日付で「剰余金の配当に関するお知らせ」として開示しておりますので、ご参照ください。

以上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別		当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		(参考) 平成18年3月期		対前年度末比較増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
【資産の部】										
I 流動資産	7,571	57.1	8,037	53.7	8,898	59.0	△1,327		△14.9	
1.現金及び預金	844		1,545		691		152			
2.受取手形及び売掛金	2,557		2,546		5,789		△3,232			
3.たな卸資産	2,304		2,786		1,285		1,018			
4.繰延税金資産	558		503		585		△27			
5.その他	1,306		655		546		760			
II 固定資産	5,698	42.9	6,943	46.3	6,174	41.0	△476		△7.7	
1.有形固定資産	3,655	27.5	3,931	26.2	3,891	25.8	△235		△6.1	
(1)建物及び構築物	1,685		1,927		1,864		△179			
(2)土地	1,553		1,553		1,553		—			
(3)その他	417		449		473		△56			
2.無形固定資産	959	7.2	1,186	7.9	1,072	7.1	△112		△10.5	
(1)連結調整勘定	—		380		360		△360			
(2)のれん	437		—		—		437			
(3)その他	522		805		711		△189			
3.投資その他の資産	1,082	8.2	1,826	12.2	1,211	8.1	△128		△10.6	
(1)投資有価証券	129		107		125		4			
(2)敷金及び保証金	527		529		529		△1			
(3)繰延税金資産	401		1,149		528		△127			
(4)その他	24		39		27		△3			
資産合計	13,270	100.0	14,981	100.0	15,073	100.0	△1,803		△12.0	

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		(参考) 平成18年3月期		対前年度末比較増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金額	増減率
【負債の部】								
I 流動負債	2,893	21.8	3,597	24.0	4,245	28.1	△1,351	△31.8
1.買掛金	1,319		1,234		1,678		△358	
2.短期借入金	-		830		300		△300	
3.未払費用	358		460		974		△615	
4.その他	1,215		1,071		1,292		△76	
II 固定負債	805	6.1	2,721	18.2	1,126	7.5	△320	△28.5
1.長期未払金	804		-		838		△33	
2.退職給付引当金	-		2,666		225		△225	
3.その他	0		55		62		△61	
負債合計	3,699	27.9	6,318	42.2	5,371	35.6	△1,672	△31.1
【純資産の部】								
I 株主資本	9,477	71.4	-	-	-	-	9,477	-
1.資本金	1,531		-		-		1,531	
2.資本剰余金	1,413		-		-		1,413	
3.利益剰余金	6,532		-		-		6,532	
4.自己株式	△0		-		-		△0	
II 評価・換算差額等	16	0.1	-	-	-	-	16	-
1.その他有価証券評価差額金	14		-		-		14	
2.為替換算調整勘定	1		-		-		1	
III 少数株主持分	77	0.6	-	-	-	-	77	-
純資産合計	9,570	72.1	-	-	-	-	9,570	-
負債、純資産合計	13,270	100.0	-	-	-	-	13,270	-
【少数株主持分】								
少数株主持分	-	-	148	1.0	187	1.3	△187	0.0
【資本の部】								
I 資本金	-	-	1,531	10.2	1,531	10.1	△1,531	0.0
II 資本剰余金	-	-	1,413	9.4	1,413	9.4	△1,413	0.0
III 利益剰余金	-	-	5,560	37.1	6,552	43.5	△6,552	0.0
IV その他有価証券評価差額金	-	-	11	0.1	16	0.1	△16	0.0
V 為替換算調整勘定	-	-	△2	△0.0	0	0.0	△0	0.0
VI 自己株式	-	-	△0	△0.0	△0	△0.0	0	0.0
資本合計	-	-	8,513	56.8	9,514	63.1	△9,514	0.0
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	14,981	100.0	15,073	100.0	△15,073	0.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)		対前年同四半期比較 増減		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	16,719	100.0	14,976	100.0	1,743	11.6	24,190	100.0
II 売上原価	13,647	81.6	12,956	86.5	691	5.3	19,907	82.3
売上総利益	3,072	18.4	2,019	13.5	1,052	52.1	4,283	17.7
III 販売費及び一般管理費	2,641	15.8	2,030	13.6	610	30.1	3,008	12.4
営業利益	431	2.6	△10	△0.1	441	—	1,274	5.3
IV 営業外収益	26	0.1	22	0.2	3	17.4	48	0.2
V 営業外費用	1	0.0	29	0.2	△28	△95.3	12	0.1
経常利益	456	2.7	△17	△0.1	473	—	1,310	5.4
VI 特別利益	199	1.2	4	0.0	194	3,992.4	521	2.1
VII 特別損失	106	0.6	29	0.2	77	261.9	223	0.9
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	548	3.3	△42	△0.3	591	—	1,608	6.6
法人税、住民税及び事業税	132	0.8	87	0.6	45	51.7	173	0.7
法人税等調整額	157	0.9	△53	△0.4	211	—	504	2.1
少数株主利益	48	0.3	0	0.0	47	9,106.9	39	0.1
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	211	1.3	△76	△0.5	287	—	891	3.7